

改定のポイント

土木工事標準歩掛は、土木請負工事費の積算に用いる標準的な施工条件における単位施工量当り、若しくは日当りの労務工数、材料数量、機械運転時間等の所要量について工種ごとにとりまとめたもので、「施工合理化調査等の実態調査」の結果を踏まえ、経済社会情勢の変化を勘案し、最新の施工実態を反映した新規工種の制定及び既存制定工種を改定。

改定を行った工種【9工種】

①新規に歩掛を制定した工種【2工種】

- ・補強土壁工(大型長方形壁面材)、連続鉄筋コンクリート舗装工

②維持修繕用の歩掛に小規模施工歩掛を追加した改定【2工種】

- ・道路打換え工、欠損部補修工

③現場実態を踏まえた日当り施工量、労務、資機材等の改定を行った工種【5工種】

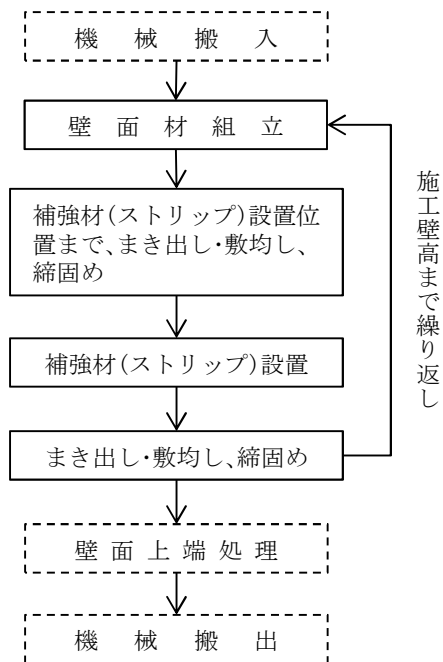
- ・補強土壁工、締切排水工、コンクリート工(砂防)、コンクリート舗装工、
トンネル濁水処理工

工種名 : 補強土壁工(大型長方形壁面材)【新規】

工法概要

・盛土の中に敷設した補強材の摩擦力とコンクリート製のプレキャスト壁面材によって、擁壁を自立させる工法で、今回新たに従来の壁面材より大型の長方形壁面材の設置歩掛を制定。

施工フロー



(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

制定概要

壁面材の寸法 : (高さ) 1.2m × (長さ) 2.7m
 盛土の一層仕上り厚さ : 30cm

●施工歩掛(壁面材組立・設置工歩掛のみ抜粋)

土木一般世話役 : 1.0人/100m²
 特殊作業員 : 1.0人/100m²
 普通作業員 : 2.0人/100m²
 ラフテレーンクレーン運転 : 0.5日/100m²
 バックホウ運転 : 1.9日/100m²
 諸雑费率 : 9%

施工状況



壁面材組立状況



敷均し状況

補強材

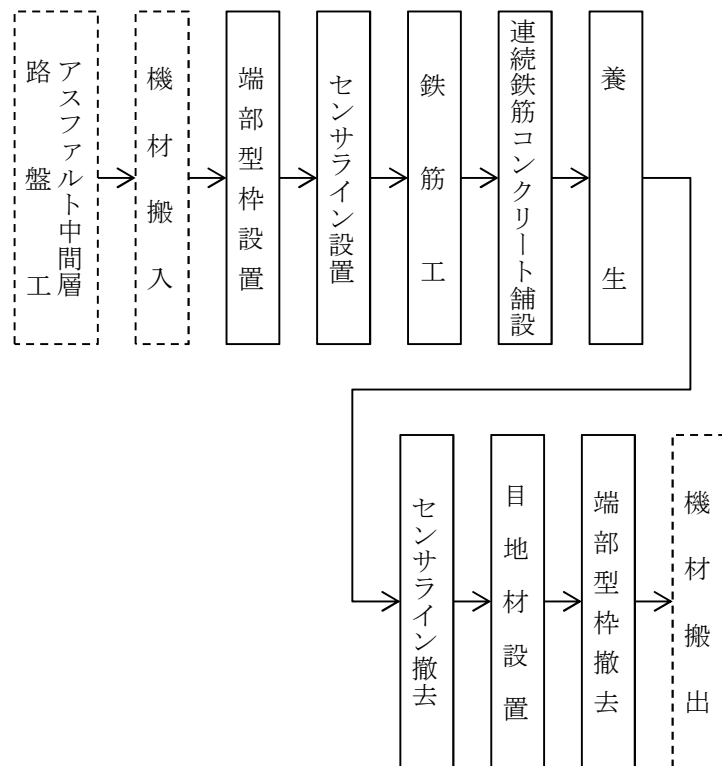
H27年度 改定工種概要

工種名：連続鉄筋コンクリート舗装工【新規】

工法概要

・連続した縦方向鉄筋を用い、コンクリート舗装版の横目地を省いたコンクリート舗装工で、スリップフォームペーバにて施工する1車線施工歩掛を制定。

施工フロー



(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

制定概要

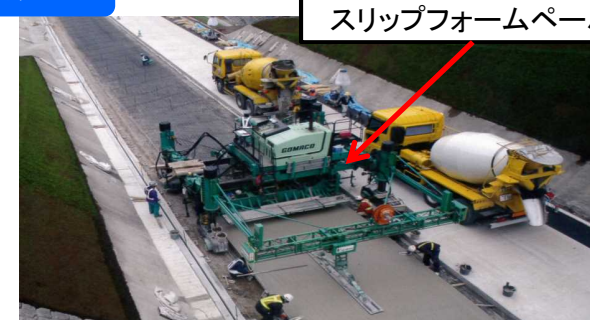
●舗設歩掛

土木一般世話役	: 0.5人 /100m ²
特殊作業員	: 0.4人 /100m ²
普通作業員	: 1.5人 /100m ²
鉄筋工	: 1.2人 /100m ²
左官	: 0.4人 /100m ²
スリップフォームペーバ運転	: 0.12人/100m ²
諸雑費率	: 36%

・舗装用コンクリート使用量

使用量(m³)=設計面積(m²)×舗装厚(m)×(1+K) ※K:ロス率
 ロス率(K) : 25cm未満 : +0.04
 25cm以上30cm以下 : +0.03

施工状況



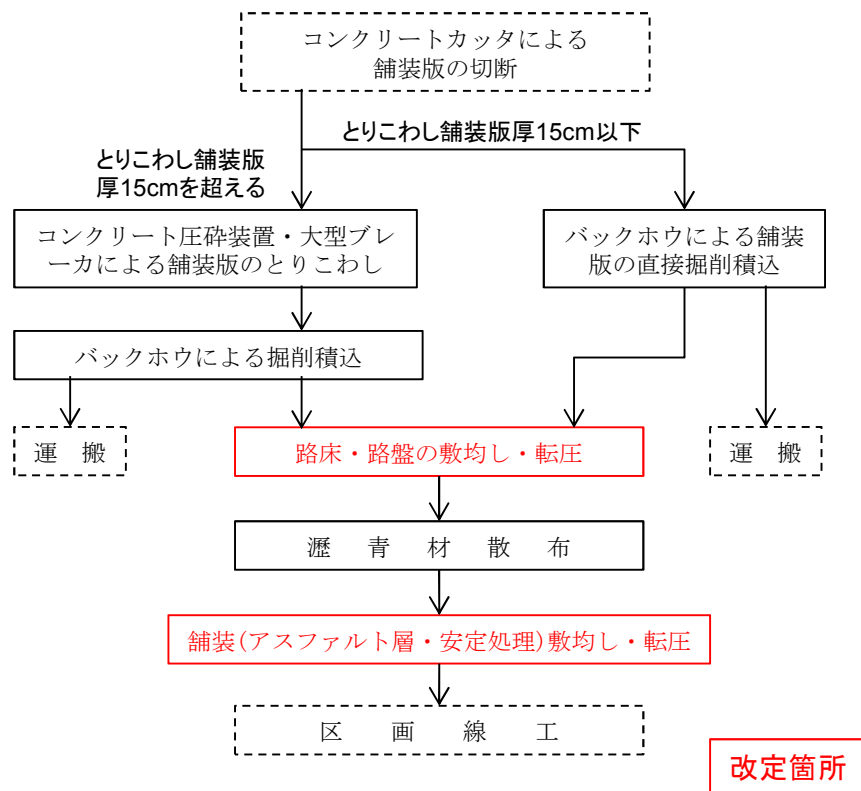
舗設状況(スリップフォームペーバ)

工種名 : 道路打換え工

工法概要

・維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから在来路盤及び路床土の掘削・積込み、路盤工、舗装工までを急速施工する現道打換え工事。

施工フロー



(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

改定概要

- 施工量による区分の変更
(現行) 区分なし → (改定) 2区分 総施工量1,000m²未満
総施工量1,000m²以上
- 使用機械・保有区分の変更
 - ・路床及び路盤の敷均し : ブルドーザ 賃料 → 小型バックホウ 損料
 - ・路床及び路盤の転圧、舗装の転圧 :
タイヤローラ 損料 → タイヤローラ 賃料
ロードローラ 損料 → 振動ローラ 賃料
- 日当り標準施工量(総施工量 1,000m²未満の一部のみ抜粋)
<全体掘削厚:40cm以下、復旧層数:3層以上,5層未満>
 - ・コンクリート圧砕装置15cm以下 : 230m²/日 → 200m²/日
 - ・コンクリート圧砕装置・大型ブレーカ15cmを超え30cm以下 : 220m²/日 → 200m²/日
 - ・コンクリート圧砕装置・大型ブレーカ30cmを超え40cm以下 : 220m²/日 → 190m²/日

施工状況



舗装版破碎状況



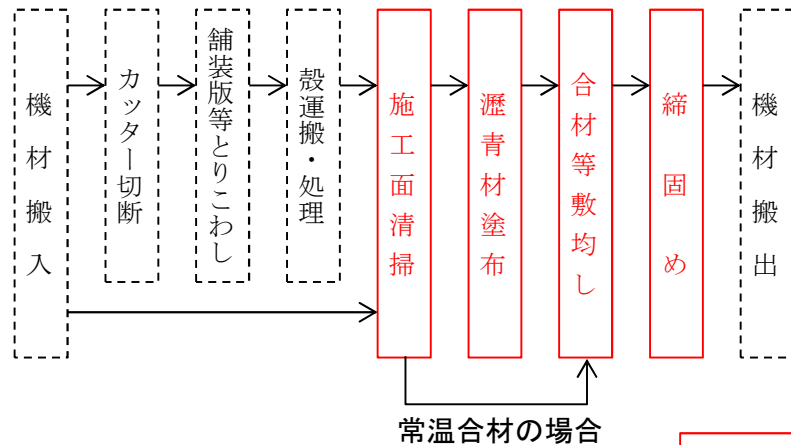
舗装転圧状況

工種名：欠損部補修工

工法概要

・道路の舗装面に生じたポットホール、くぼみ、段差、局部的なひび割れなどの欠損部に対して、舗装材料を舗設して締め固める補修作業。

施工フロー



(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

改定概要

●合材及び日施工量による区分を改定

【現 行】		【改 定】	
日施工量：5t/日未満	→ (加熱合材)	～ 1t/日未満	～ 1t/日未満
		1t/日以上 ～ 2t/日未満	1t/日以上 ～ 2t/日未満
		2t/日以上 ～ 5t/日未満	2t/日以上 ～ 5t/日未満
5t/日以上	→ (常温合材)	～ 0.3t/日未満	～ 0.3t/日未満
		5t/日以上	5t/日以上 ～ 20t/日未満

●施工歩掛(加熱合材、日当り施工量:1t以上2t未満のみ抜粋)

土木一般世話役	: 0.38人/t	→	0.64人/t
特殊作業員	: 0.55人/t	→	1.00人/t
普通作業員	: 0.64人/t	→	1.29人/t

施工状況



合材敷均し状況



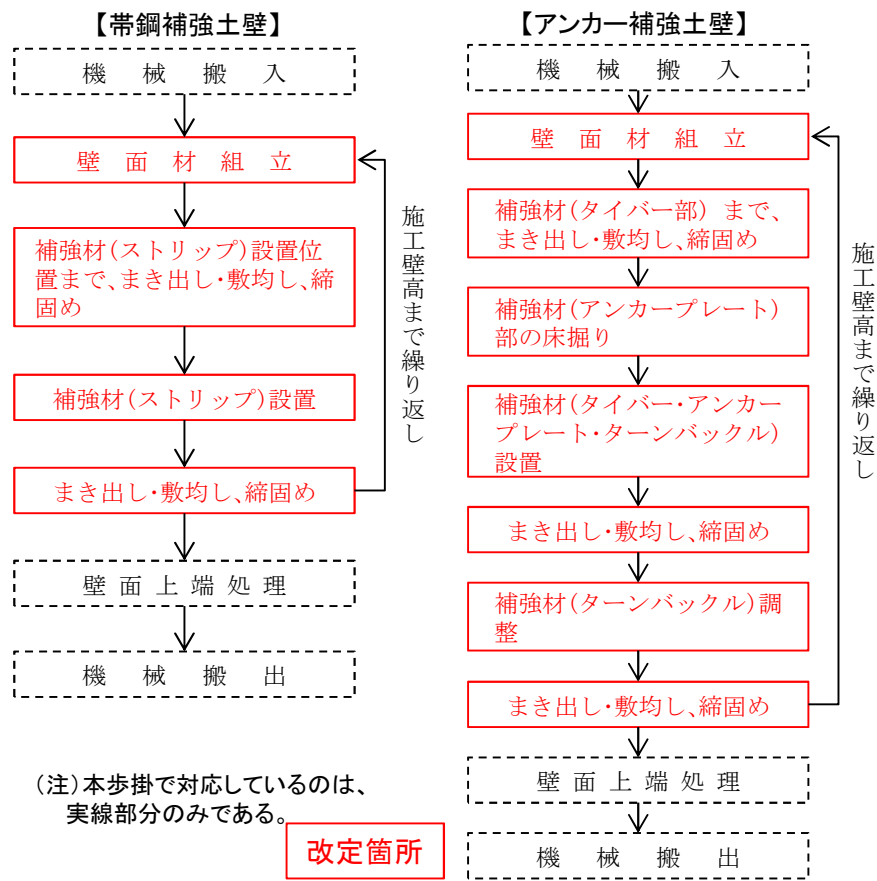
締め固め施工状況

工種名 : 補強土壁工

工法概要

・盛土の中に敷設した補強材の摩擦力とコンクリート製のプレキャスト壁面材によって、擁壁を自立させる工法。

施工フロー



改定概要

●使用機械の変更

壁面材組立(帯鋼補強土壁(1)) : トラッククレーン4.9t吊
 → ラフテレンクレーン25t吊・バックホウ山積0.5m3クレーン機能付

●施工歩掛(まき出し・敷均し、締固め工のみ抜粋)

土木一般世話役	: 0.39人/100m ³ → 0.51 人/100m ³
特殊作業員	: 0.54人/100m ³ → 0.40 人/100m ³
普通作業員	: 0.84人/100m ³ → 0.83 人/100m ³
バックホウ運転	: - /100m ³ → 0.23 日/100m ³
ブルドーザ運転	: 1.2h/100m ³ → 0.29 日/100m ³
タイヤローラ運転	: 1.2h/100m ³ → - /100m ³
振動ローラ運転	: - /100m ³ → 0.29 日/100m ³

施工状況



壁面材組立状況



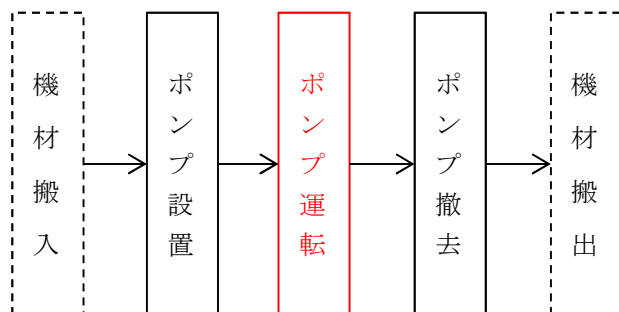
敷均し施工状況

工種名 : 締切排水工

工法概要

- ・水門、樋門・樋管、橋台・橋脚、護岸、砂防堰堤等の構造物を構築するため、鋼矢板等を用いて水中締切、地中締切等を行った場合の作業場所(締切現場内)に浸透してくる水を工事用水中モータポンプにより排水する工法。

施工フロー



(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

改定箇所

改定概要

- 使用機械の変更
 - ・発動発電機規格:
 - 排水量区分(0m³/h以上 40m³/h未満) : 20kVA → 25kVA
 - 排水量区分(40m³/h以上 120m³/h未満) : 25kVA → 35kVA

施工状況



ポンプ運転状況

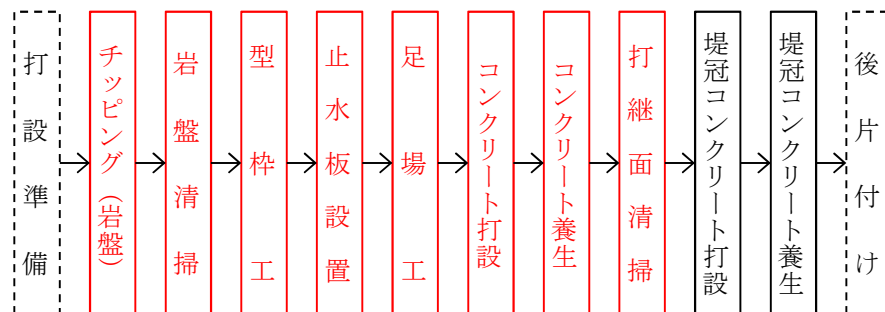
H27年度 改定工種概要

工種名 : コンクリート工(砂防)

工法概要

・砂防工(本えん堤, 副えん堤, 床固め, 帯工, 水叩き, 側壁, 護岸)における平均打設高30m以下のコンクリート打設の施工。

施工フロー



※ケーブルクレーン打設を除く

(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

改定箇所

改定概要

- 使用機械の排出ガス対策基準値
ラフテレーンクレーン : 第1次基準値 → 第2次基準値
- 施工歩掛
(型枠工)土木一般世話役 : 1.1人/100m² → 2.5人/100m²
型わく工 : 21.5人/100m² → 18.3人/100m²
普通作業員 : 5.8人/100m² → 6.3人/100m²
ラフテレーンクレーン運転 : - → 2.3日/100m²
(足場工)土木一般世話役 : 0.1人/10m → 0.1人/10m
とび工 : 0.3人/10m → 0.4人/10m
普通作業員 : 0.3人/10m → 0.4人/10m
(一般部コンクリート打設)土木一般世話役 : 1.5人/100m³ → 1.8人/100m³
特殊作業員 : 4.4人/100m³ → 4.4人/100m³
普通作業員 : 5.8人/100m³ → 5.9人/100m³
※日打設量 50m³未満(特殊養生を必要としない場合)のみ抜粋
- 諸雑費率の見直し

施工状況



コンクリート打設状況

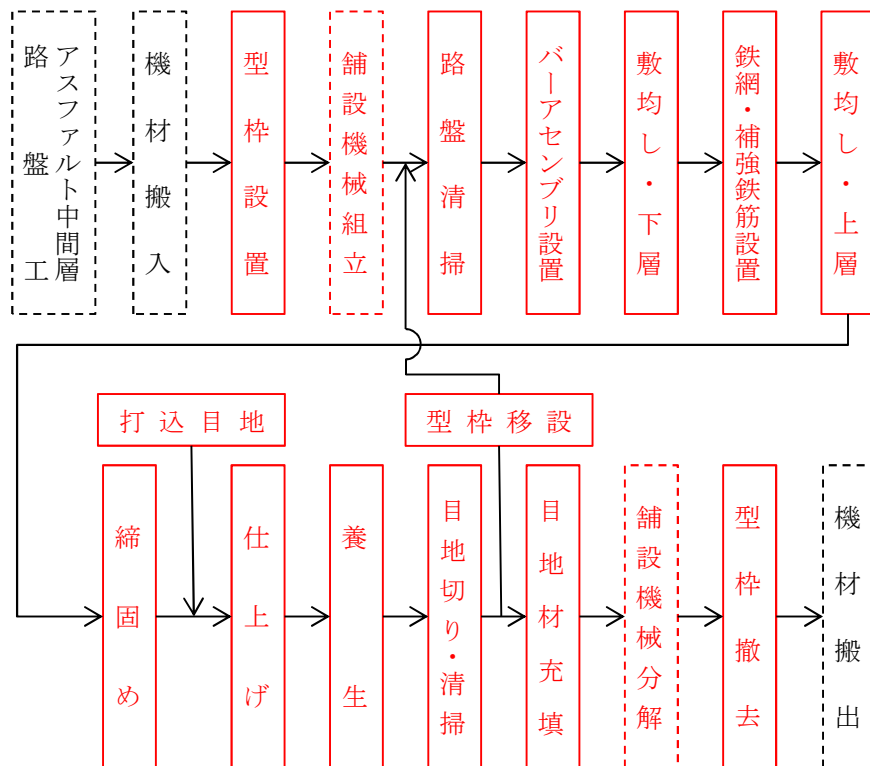
H27年度 改定工種概要

工種名：コンクリート舗装工

工法概要

・レディーミクストコンクリートを用いたセメントコンクリート舗装工事。

施工フロー



(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

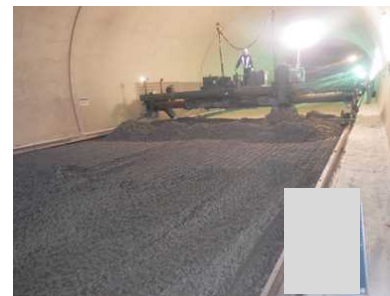
改定箇所

改定概要

- 適用範囲の変更
 - ・機械舗設(2車)：片勾配のみ → 片勾配、及び両勾配
 - 標準機械
 - ・機械舗設(2車)
 - コンクリートスプレッダ：フレード式 3～7.5m → 勾配可変型・フレード式 5～8.5m
 - コンクリートフィニッシャ、コンクリートレバ：勾配固定式 3～7.5m → 勾配可変式 5～8.5m
 - 施工歩掛
 - ・機械舗設(2車)

土木一般世話役	： 0.70人/100m ²	→ 0.73人/100m ²
特殊作業員	： 2.16人/100m ²	→ 1.12人/100m ²
普通作業員	： 4.87人/100m ²	→ 2.98人/100m ²
左官	： 一人/100m ²	→ 0.66人/100m ²
コンクリートスプレッダ運転	： 1.21 h/100m ²	→ 1.31 h/100m ²
コンクリートフィニッシャ運転	： 1.21 h/100m ²	→ 1.31 h/100m ²
コンクリートレバ運転	： 1.21 h/100m ²	→ 1.31 h/100m ²
ラフテレンクレーン運転	： 0.12日/100m ²	→ 一日/100m ²
- ※舗設機械(コンクリートフィニッシャ)の分解組立、運搬費等については別途計上。

施工状況



舗設状況(スプレッダ)



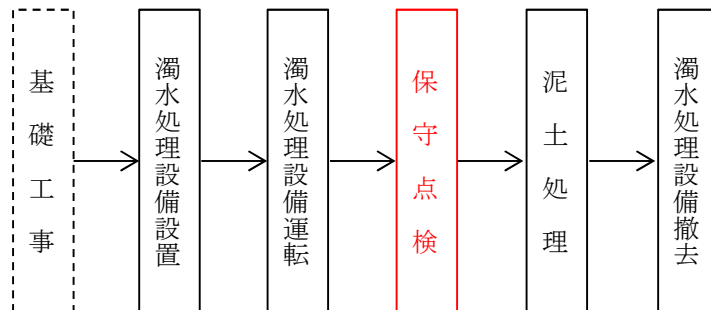
舗設状況(フィニッシャ)

工種名 : トンネル濁水処理工

工法概要

・トンネル工事で発生する濁水について、機械処理脱水方式にて水質基準値以下になるまで処理する工法。

施工フロー



(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

改定箇所

改定概要

- 諸雑費率の改定
濁水処理設備の保守点検
諸雑費の泥土(脱水ケーキ)の積込に要する費用に以下の費用を計上。
 - ・積込機械:バックホウ → バックホウ(クレーン機能付き)
 - ・大型土のうの材料費を計上

諸雑費率:2% → 7%

施工状況



泥土(脱水ケーキ)仮置き状況